

[あたらしい経済 \(New economy\)](#)

仮想通貨 & ブロックチェーン業界で
2021年におさえおくべき
トピックス



あたらしい経済



自己紹介

設楽悠介 Yusuke Shidara

株式会社幻冬舎 あたらしい経済 編集長/コンテンツビジネス局局次長

幻冬舎のブロックチェーン専門メディア「[あたらしい経済 \(New economy\)](#)」を創刊。同社コンテンツビジネス局で新規事業や電子書籍事業、コンテンツマーケティング事業を担当。幻冬舎コミックス、エクソダス等の取締役も兼務。また複数企業の社外アドバイザーも務める。個人活動としてVoicyでビジネス系音声番組「[風呂敷畳み人ラジオ](#)」や、カルチャー&テック系Podcast/YouTube番組「[#欲望のSNS](#)」等の数々のコンテンツの発信やコミュニティを運営。Forbes Japanにて「[ポストDXの世界](#)」連載中。著書に『[「畳み人」という選択「本当にやりたいこと」ができるようになる働き方の教科書](#)』（プレジデント社）。

Twitter: <https://twitter.com/ysksdr>



CBDC(中央銀行デジタル通貨)

CBDC(中央銀行デジタル通貨)

CBDCの定義

- (1) デジタル化されていること
- (2) 円などの法定通貨建てであること
- (3) 中央銀行の債務として発行されること

なお発行手法もいくつか検討されているが、一般利用型のものは中央銀行が一般市民に対して直接口座を開設するわけではなく、仲介機関、民間部門の決済システムと連携して発行していくものが世界で主流だと考えられている。

CBDC(中央銀行デジタル通貨)

メリット

国家

- ・クロスボーダー取引のコスト減、スピードアップ
- ・紙幣や貨幣の製造、流通、管理、廃棄などのコスト減
- ・脱税やマネーロンダリング防止及び捕捉する効果
- ・金融包摂効果
- ・フレキシブルな金融政策への活用
- ・緊急時の給付金支給などのスピードアップ

国民

- ・決済や送金などの手数料が下がる
- ・不正利用や紛失のリカバーが可能になることもある
- ・納税手続きの簡略化
- ・(どこまでのデータを中央銀行及び仲介業者がえられるかによるが)今まで実現しなかったマーケティングやビジネス展開も可能に

デメリット(考慮すべきポイント)

- ・現状のシステムや市場への影響が未知数である
- ・ハッキングなどのへの高度なセキュリティ対策が必要
- ・民間を圧迫しない適切な制度設計が必要
- ・プライバシー管理の問題

CBDC(中央銀行デジタル通貨)

国名	デジタル通貨名	現在の状況
中国	デジタル人民元	<ul style="list-style-type: none"> デジタル人民元発行を目的に銀行法改正の公開協議開始(2021年北京冬季オリンピックまでにローンチ予定か)。 深圳市住民5万人を対象にデジタル人民元を約1億5,754万円配布しテスト運用
ヨーロッパ	デジタル・ユーロ	<ul style="list-style-type: none"> 欧州中央銀行(ECB)理事がデジタル・ユーロの概要説明と公開協議開始を10月13日に発表 2021年半ばまでに正式にローンチするかを決め、本格的なプロジェクト開始の有無を検討する
アメリカ	デジタル・ドル	<ul style="list-style-type: none"> アクセンチュアらのデジタル・ドルプロジェクトがホワイトペーパーを発表
日本	デジタル円	<ul style="list-style-type: none"> システム的な実験環境を構築し、決済手段としてのCBDCの中核をなす、発行、流通、還収の基本機能に関する検証を行う予定(2021年の早い時期、なお現時点では発行計画はない)
カンボジア	バコン	<ul style="list-style-type: none"> カンボジア国立銀行がソラミツと共同開発の中央銀行デジタル通貨を10月28日に正式運用開始
スウェーデン	イー کرونا	<ul style="list-style-type: none"> スウェーデン国立銀行は、2021年2月末までにクローナの電子版をテスト
韓国	名称未定	<ul style="list-style-type: none"> EY Hanyong、サムスン、LINEらがCBDCプロジェクトの技術設計に取り組む可能性 韓国銀行はパイロットプロジェクトを進行させながらも、本格的なローンチ予定はないと伝えている
ガーナ	名称未定	<ul style="list-style-type: none"> ガーナ銀行は具体的なCBDCのパイロットプロジェクトに向けて取り組んでいるとの報道
バハマ	サンドダラー	<ul style="list-style-type: none"> バハマ中央銀行が中央銀行デジタル通貨(CBDC)「サンドダラー」を10月21日に発行開始 バハマドルと1:1で連動。政府承認ウォレットがあり、店舗でも支払い可能。将来的には国際化を検討
香港・タイ	名称未定	<ul style="list-style-type: none"> 香港金融管理局とタイ銀行はCBDCのクロスボーダー決済への適用を検討するプロジェクト インタバン・ライオンロック・プロジェクトを実行中。銀行間の直接取引、コリドーネットワークの構築



ステーブルコイン

ステーブルコイン

既に紹介したCBDCもステーブルコインの一種である。ステーブルコインとは何らかの方法でそのコイン自体の価格を安定させるデジタル通貨。

種類

- (1) 法定通貨担保型ステーブルコイン (USDT、USDC、BUSDなど)
- (2) 暗号資産(仮想通貨)型担保型ステーブルコイン (MakerDAO/DAI)
- (3) 無担保型ステーブルコイン

現在主流なものは (1) 法定通貨担保型ステーブルコイン

ステーブルコイン

ニュース

- [・三菱UFJ、三井住友、みずほらとJR東日本らがデジタル通貨とのSuica連携を検討](#)
- [・スイスのSygnum銀行がステーブルコインを発行](#)
- [・GMOがニューヨークで円/米ドル連動のステーブルコイン「GYEN」の発行許可取得](#)
- [・PayPal\(ペイパル\)がステーブルコイン発行会社Paxos\(パクス\)と提携か](#)
- [・Facebookが主導するステーブルコインプロジェクトLibraがDiemにリブランディング](#)

ステーブルコイン

注目のポイント「各国での規制」

・米国ホワイトハウスがステーブルコインの取り決めに関する声明を発表

・米下院にてステーブルコイン発行者を規制する「ステーブル(STABLE)法案」が提出

・英国財務省がステーブルコインを規制する方針を発表



DeFi (decentralized finance: 分散型金融)

DeFi (decentralized finance : 分散型金融)

DeFiとは、パブリックブロックチェーン上に構築された分散型の金融エコシステム、または従来の金融分野のサービスを、ブロックチェーンとその上で動くプログラムで実現するものなどを指す。大きなポイントは中央集権組織の管理や監視がない(もしくは小さい)こと。

広い意味でDeFiと定義できるサービスジャンルには以下のようなものがある。

- アセットマネジメント
- ステーキング
- バンキング、ペイメント
- KYCやID
- DEX (エクスチェンジ)
- マーケットプレイス
- ステーブルコイン
- 保険
- レンディング
- アセットのトークン化

DeFi (decentralized finance : 分散型金融)

注目のポイント「2020年にDeFiバブル」

- コンパウンド (Compound)

仮想通貨の貸借プラットフォーム。コンパウンドのガバナンストークン「COMP」が昨年夏に高騰した。イーサリアムファームの火付け役。

- ユニスワップ (Uniswap)

イーサリアム上のDEX (分散型取引所)。 [昨年ガバナンストークン「UNI」を発行したことでDeFiバブルを引き起こす。](#)

DeFi (decentralized finance : 分散型金融)

DeFiバブルがもたらすもの

メリット

自由な取引(民主化)、低い手数料、金融包摂

デメリット

ハッキング(昨年も多数発生)、異常な盛り上がりによるバブル(ICOバブルのようなリスク)、規制、マネロン

特に2021年、規制の部分では要注意、各国で規制が強化されていく可能性が高いのでは

分散型ID(DID)

デジタルアイデンティティのひとつで、ブロックチェーン技術を利用して自分のアカウントに紐づく個人情報をも自分で管理するような方法を指す。

ニュース

[・マイクロソフトがビットコインベースの分散型ID管理ツール「ION/イオン」のベータ版をメインネットで公開](#)

・オントロジー ONTology「DeID」

オントロジーが開発する分散型IDソリューション。いくつかのパブリックチェーンとの統合を開始しており、昨年11月にはPolkadotと協業も発表。[→オントロジー2021年のロードマップ](#)

[・韓国SKテレコムが分散型アイデンティティを利用した電子証明サービス「initial\(イニシャル\)」とサムスンのハードウェアセキュリティ技術を連携](#)

[・中国でバイドゥやテンセントなどが参加する分散型アイデンティティ・アライアンスが発足](#)

分散型ID(DID)

分散型IDがもたらすもの

「データの所有権」はグローバルで問題である、プライバシーの観点でも重要となるソリューションだ。さらにユーザーとしてもパスワード管理の煩雑さの解消にもつながる。またハッキングのリスクも減る。ただし個人で安全で適切な管理ができるか、入り口のところの認証や不正の排除をどう行うか、など検討課題も多い。

SDGsの中で「2030年までに、すべての人々に出生登録を含む法的な身分証明を提供する」ことを定めている。またDIDが実現すれば、電子投票、パスポートをはじめ民間のあらゆるサービスに大きなインパクトをもたらす可能性がある。

[参考【取材レポ】電子投票の「ファーストペンギン」を目指す。石川県加賀市がxID、LaverXと市政デジタル化を目指し連携協定](#)



企業におけるブロックチェーン利用

企業におけるブロックチェーン利用

企業や企業群が利用するため、パブリックチェーンではなく、プライベート/コンソーシアムチェーンでの利用が現在は主である。

コンソーシアムブロックチェーン基盤

- Hyperledger Fabric
- Corda
- Quorum 他

金融、産業(非金融)、行政分野など幅広く現在も実証実験が行われ、実用化のケースもみられる。特に世界で実用事例が増えているのがトレーサビリティへの活用、規制などの影響も少なく、2021年も多くの事例が発表されることが予想される。

ニュース

- ・[「トヨタ・ブロックチェーン・ラボ」、ブロックチェーン技術の活用検討と外部連携を加速化](#)
- ・[豊田通商システムズがトヨタG向け商取引DX基盤構築を開発中](#)
- ・[日本通運がアクセンチュア、インテルと物流領域でブロックチェーン活用へ](#)
- ・[LIFULLがSecuritize Japanと不動産特定共同事業者向けのSTOスキームの提供を発表](#)
- ・[SBIグループがSTOによる5,000万円の資金調達を10月30日に計画](#)
- ・[三井物産デジタル・アセットマネジメント\(MDM\)がセキュリティ・トークンの実証開始の発表](#)
- ・[SOMPOホールディングス、損害保険ジャパン、ナビタイムジャパン、LayerXがブロックチェーン技術を活用したMaaS領域の実証実験を開始](#)
- ・[NTTデータがブロックチェーンを活用した新型コロナのPCR検査結果認証プロセスの効率化を図る実証実験](#)
- ・[住友商事とbitFlyer Blockchainが独自ブロックチェーン「mivabi」を活用した不動産賃貸契約プラットフォーム「スマート契約」のプレ商用サービスを開始](#)
- ・[コインチェック、Link-U、HashPortが日本初のIEO実現に向け共同プロジェクトを発足](#)
- ・[電通、コンテンツの「n次流通プロジェクト」を開始ーブロックチェーン技術を活用し、新たなマネタイズの可能性を共同研究ー](#)
- ・[ブロックベースと「あたらしい経済」がブロックチェーン技術を活用し、読者が買った後にどんどんと加筆されていく書籍「加筆されていく骨み人という選択」を販売](#)



企業のビットコイン投資

企業のビットコイン投資


2020年米国上場企業らによるビットコイン購入は注目のポイント。ビットコインの過去最高値更新の大きな要因の一つと考えられる。

・スクエア(Square) 2020年10月8日、4709ビットコイン(BTC)を購入したと発表。同社の総資産の1%、5000万ドル(約53億円)に相当する(当時価格)。

・マイクロストラテジー 2020年8月から9月にかけて4億2,500万ドル(約440億円)をビットコインに投資し、12月にも追加購入している。これまでに購入したビットコインの総量は約70,470BTCとなり、1BTCあたりの平均取得額は約1万5,964ドル(約165万円)となる。

・マスマューチュアル 米生命保険会社マスマューチュアルが約100億円(1億ドル)相当のビットコイン購入

[参考:「史上最高値更新のビットコインに多くの企業は投資すべき？」米上場企業がビットコインへ投資した理由](#)



その他の重要なトピックス

FinCENの暗号資産ウォレット規制案

FinCENの暗号資産ウォレット規制案とは、管理者が存在していない(非ホスト)型の暗号資産(仮想通貨)ウォレットの取締の強化を目的に12月18日に発表されたものだ。FinCENが提案する規制案は2021年1月4日までパブリックコメントを募集していて、兌換可能な暗号資産と法定通貨のデジタル資産を金融商品に分類し、銀行秘密保護法(Bank Secrecy Act/BSA)の要件の対象とすることを提案している。

この規制案では約31万円(3,000ドル)を超える引き出しに対して、ウォレットのサービスプロバイダーは顧客身元確認(KYC)の強化が必要となる。またウォレットサービスプロバイダーは約103万円(1万ドル)を超える取引の場合にはSECやIRSへ報告しなければならないという内容だ。

[→米財務省FinCENが暗号資産ウォレットを銀行秘密保護法の適用範囲にする意向](#)

[→a16z、スクエア、コインベース、クラークンがFinCENの暗号資産ウォレット規制案に反論](#)

SECがリップル社及び幹部2名を提訴

米国証券取引委員会 (SEC) がRipple Labs社 (以下リップル社) とその重要な証券保有者でもある幹部2名を相手に、未登録で進行中のデジタル資産証券の募集を通じて約1,340億円 (13億ドル) 以上の資金調達を行ったと主張する訴訟を提起したと12月22日に発表した。幹部2名とは最高経営責任者のブラッド・ガーリンハウス (Brad Garlinghouse) 氏と共同創業者のクリス・ラーセン (Chris Larsen) 氏。

SECの訴状文では、リップル社は2013年から、XRPとして知られるデジタル資産の販売を通じて資金を調達し、米国および世界中の投資家に無登録の証券を提供していたと認識されている。またリップル社は労働力やマーケットメイキングサービスなど、現金以外の対価と引き換えに数十億のXRPを配布していたようだ。さらにSECの訴状によれば、クリス・ラーセン氏とブラッド・ガーリンハウス氏は、会社の事業資金に使われたXRPの販売を仕組化して宣伝したことに加えて、合計約6億ドルのXRPの個人的な無登録販売も行っていたとのこと。

最終的に訴状では「被告らは連邦証券法の登録規定に違反して、XRPの申し出と販売を登録しなかった、あるいは登録の免除を満たしていなかった」と主張されている。

[→SECとリップル社、双方の主張](#)



about New economy

 あたらしい経済

<https://www.neweconomy.jp/>

「あたらしい経済」は、ブロックチェーン、仮想通貨(暗号通貨)、トークンエコノミー、評価経済などがもたらすDXをメインテーマとして、**出版社だからこそその取材力と記事編集のクオリティ**で、質が高く安心安全な情報提供を目指しています。現在記事、音声番組、動画番組など多数のコンテンツを配信していますのでぜひご覧ください。

コンテンツジャンル

- ・テキストコンテンツ(ニュース、コラム、インタビュー)
- ・動画コンテンツ
- ・音声コンテンツ
- ・書籍コンテンツなどのクリエイティブ



テキストコンテンツ



おすすめの特集記事



- #1 未来を逆算し、官と民、両者の目線で切り開くべき私た...
石山アンジュ
- #2 分散化社会にとって必要なのは自己拡張
石山アンジュ
- #3 ブロックチェーンはシェアリングエコノミーを発展させ...
石山アンジュ



仮想通貨やブロックチェーンをテーマにした理由



『ニムロッド』は仮想通貨(暗号資産)やブロックチェーン、分散化の世界観を題材にしています。それに関して世間の反応はどのように受け止められていますか？

そもそもまだ一般的には仮想通貨というものが、よく分からないテーマだと思われると感じました。このテーマだから読もうと思ってくれた人もいますし、反対に敬遠してしまった人もいたと思います。

「あたらしい経済」で取材や執筆

Jack Dorsey (Twitter Founder) / CZ (Binance) / Rene Reinsberg (Celo) / Zac Prince (BlockFi) / Richard Ma (Quantstamp) / Zooko Wilcox (Zcash) / David Chaum (暗号通貨の父) / Galia Benartzi (Bancor) / Roy Luu (kyberNetwork) / David Jeffreys (Steemit) / Allen Wookyun Kho (Medobloc)

村井純 (慶應義塾大学) / 佐藤航陽 (メタップス) / 廣末紀之 (ビットバンク) / 熊谷正寿 (GMOインターネット) / 福島良典 (LayerX) / 栗元憲一 (Nayuta) / 大野紗和子 (AnyPay) / 今井崇也 (フロンティアパートナーズ) / 河崎純真 (GIFTED AGENT) / 水島洋 (国立保健医療科学院研究情報支援研究センター) / 神田潤一 (マネーフォワード) / 伊藤和真 (PoliPoli) / 田村健太郎 (mint) / 藤本真衣 (MissBitcoin・グラコネ) / 安昌浩 (ALIS) / 渡辺創太 (クロニクルド) / 木村優 (LCNEM) / 片岡拓 (Cryptoeconomics Lab) / 落合涉悟 (Cryptoeconomics Lab) / 村上照明 (chaintope) / 今田孝哉 (fever) / 平野淳也 (d10nLab) / 中村昂平 (トークンポケット) / 岡部典孝 (RealWorldGames) / 井口和宏 (シェアリングエネルギー) / 黒田悠介 (議論メシ) / 箕輪厚介 (幻冬舎) / 沼澤健人 (Aerial Partners) / Yusuke Obinata (NodeTokyo CryptoAge) / 宮口あや (イーサリアム財団) / 上田岳弘 (芥川賞作家) / 中谷一馬 (衆議院議員) / 藤本守 (SBI R3 Japan) / 国光宏尚 (gumi) / 藤田雄一郎 (ファンズ) / 小林弘人 (インフォバーン) / 久田哲史 (Datachain) / ゆうこす (菅本裕子) 他多数

[→人気記事はこちら](#)

音声コンテンツ

Podcastで平日毎日ブロックチェーンに関するニュース番組を放送しています。 [Apple Podcast](#)、[Spotify](#)、[アマゾンオーディブル](#)、[Google Podcast](#)などで「あたらしい経済」で検索をお願いします！

Apple Podcast プレビュー



250エピソード

仮想通貨・ブロックチェーンに特化した幻冬舎のメディア「あたらしい経済 <https://www.neweconomy.jp/>」がおくる、ラジオ番組です。毎日最新ニュースとコラムをお届けします。

あたらしい経済ニュース(幻冬舎のブロックチェーン・仮想通貨ニュース)

あたらしい経済編集部(幻冬舎)

ニュース

★★★★★ 3.9、21件の評価

こちらで聴く: [Apple Podcasts](#) ↗



2019年8月29日

ルームネットワークがFacebook「Libra」のプログラムを学べる教育ゲ...



仮想通貨・ブロックチェーンに特化した幻冬舎のメディア「あたらしい経済 <https://www.neweconomy.jp/>」がおくる、ラジオ番組です。毎日最新ニュース解説とコラムをお届けします。

▶ 再生 11分

2019年8月28日

中国人民銀行のデジタル通貨発行準備が完了かたどのブロックチェーン...

with Amazon 音声コンテンツ

アマゾンオーディブルとコラボしオリジナルコンテンツ配信中、初心者向けのコンテンツやインタビューコンテンツなど耳から学べる番組。

[→アマゾンオーディブル](#)

audible by amazon.com	コンテンツ	タイトル/ナレーター / Q 条件検索	# 05		あたらしい経済「耳から学ぶトレーサビリティとブロックチェーン」 著者：株式会社幻冬舎「あたらしい」経済編集部 再生時間：不明 配信日：2020/08/31 言語：日本語 ★★★★★ 3件のカスタマーレビュー	価格：¥600 無料体験で入手する	
あたらしい経済シリーズ ★★★★★ 39件のカスタマーレビュー 概要 幻冬舎のブロックチェーン/暗号資産（仮想通貨）/フィンテック専門メディア「あたらしい経済（New economy）」によるAudible特別番組。			# 06		あたらしい経済「ブロックチェーンのスクーリング技術「Plasma（プラズマ）」の可能性（株式会社Cryptoeconomics Lab 落合涉悟インタビュー）」 著者：株式会社幻冬舎「あたらしい」経済編集部 再生時間：不明 配信日：2020/09/30 言語：日本語 ★★★★★ 1件のカスタマーレビュー	価格：¥600 無料体験で入手する	
# 01 			価格：¥1,000 無料体験で入手する	# 07		あたらしい経済「DeFi, CBDC, 企業ブロックチェーン。2020年の業界トレンドを分析（株式会社HashHub CEO 平野淳也インタビュー）」 著者：株式会社幻冬舎「あたらしい」経済編集部 再生時間：不明 配信日：2020/11/01 言語：日本語 レビューはまだありません。	価格：¥600 無料体験で入手する
# 02 			価格：¥600 無料体験で入手する	# 08		あたらしい経済「アートとブロックチェーン（スタートアップ株式会社 島井泰平インタビュー）」 著者：株式会社幻冬舎「あたらしい」経済編集部 再生時間：不明 配信日：2020/11/30 言語：日本語 ★★★★★ 1件のカスタマーレビュー	価格：¥600 無料体験で入手する
# 03 			価格：¥600 無料体験で入手する	# 09		あたらしい経済「ビットコインとブロックチェーンのこれまでと2021年トレンド予測（株式会社グラコネ代表・ミスビットコイン 藤本真衣インタビュー）」 著者：株式会社幻冬舎「あたらしい」経済編集部 ナレーター：股楽 悠介 竹田 匡宏 大津真 新也 藤本 真衣 再生時間：不明 配信日：2021/01/05 言語：日本語 レビューはまだありません。	価格：¥500 無料体験で入手する
# 04 			価格：¥600 無料体験で入手する				

with CoinPost 動画コンテンツ

幻冬舎「あたらしい経済」と「CoinPost」が提携し、ブロックチェーン/仮想通貨(暗号資産)業界のニュース解説や初心者向けに学べるトピックスを紹介するYouTube番組「#CONNECT」をスタート!

[→「#CONNECT」はこちら](#)



The screenshot shows the YouTube channel page for '#CONNECT / あたらしい経済 CoinPost'. The channel has 601 subscribers. The main video is titled '【新番組】CoinPost x あたらしい経済が...'. The video description reads: '幻冬舎「あたらしい経済」と「CoinPost」が提携し、ブロックチェーン/仮想通貨(暗号資産)業界のニュース解説や初心者向けに学べるトピックスを紹介するYouTube番組「#CONNECT」をスタート!今回は「何故この2社がYouTube番組を開始したのか?」について話しています!番組のご意見・ご感想などハッシュタグCONNECTをつけてツイッターにご投稿ください!'. Below the video, there are thumbnails for other videos, including '仮想通貨市場を揺るがす' and '2021年の仮想通貨の相場は?'. The channel navigation bar includes 'ホーム', '動画', '再生リスト', 'チャンネル', 'フリートーク', and '概要'.

書籍企画・製作とプロモーション

『ブロックチェーンがひらく「あたらしい経済」』 chaintope (著)

あたらしい経済

検索するキーワードを入力

特集・連載 ストーリー 学ぶ ニュース JOB 著者 ABOUT

NEW ECONOMY BLOCKCHAIN THE FUTURE REALIZED BY

ブロックチェーンがひらく「あたらしい経済」

書籍『ブロックチェーンがひらく「あたらしい経済」』

この特集をシェア

Facebook ツイート LINEで送る

「書籍発売前無料公開 ①」

NEW ECONOMY BLOCKCHAIN

ブロックチェーンがひらく「あたらしい経済」

今、世界同時競争が起こっているそして、日本の企業に勝機は、ある

「ブロックチェーンは世界同時競争が行われ、日本にも十分な勝機がある」／書...
これから、わずか数年で世の中の仕組みが大きく変わる可能性が高まってきました。本来であれば20年くらいかけて変化する流れが、誰も予想しえなかった新型コロナ...

「書籍発売前無料公開 ②」

NEW ECONOMY BLOCKCHAIN

ブロックチェーンがひらく「あたらしい経済」

今、世界同時競争が起こっているそして、日本の企業に勝機は、ある

「ブロックチェーンはこれからの時代の必須教養」／書籍『ブロックチェーンがひらく...
そしてこうした変化は日本やアジアの再生にも一役買うかもしれません。これには、ブロックチェーンが浸透した世界には、「絶対的な権力者が必ずしも必要ではな...

書籍発売記念インタビュー

NEW ECONOMY BLOCKCHAIN

ブロックチェーンがひらく「あたらしい経済」

今、世界同時競争が起こっているそして、日本の企業に勝機は、ある

8月26日全国書店で発売！

あらかゆる業界のビジネスパーソンにブロックチェーンでのDXの可能性を伝えたい/書籍...
株式会社chaintopeの正田英樹氏、田中貴規氏、村上原明氏、中城元臣氏、安土茂亨氏に出演いただき、出版に込めた想い、どんな方に読んでいただきたいか、新型...

あたらしい経済 編...

NEW ECONOMY BLOCKCHAIN THE FUTURE REALIZED BY

ブロックチェーンがひらく「あたらしい経済」

THE FUTURE REALIZED BY BLOCKCHAIN

今、世界同時競争が起こっている
そして、日本の企業に勝機は、ある

あらかゆる業界のビジネスパーソンが知るべき
ブロックチェーンの知識とビジネス活用事例

正田英樹 田中貴規 村上原明 中城元臣 安土茂亨 株式会社chaintope

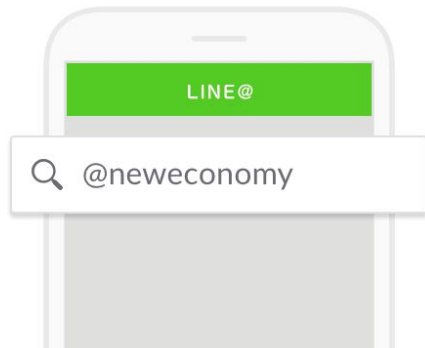
あたらしい経済

定価(本体1400円+税)

→書籍出版のご相談、お問い合わせください！

「あたらしい経済」プロジェクトの最新情報は LINE公式アカウントでお届けします

LINEから登録は
「@neweconomy」で@も含め検索！



以下のQRコードを読み取ることでも
登録いただけます

